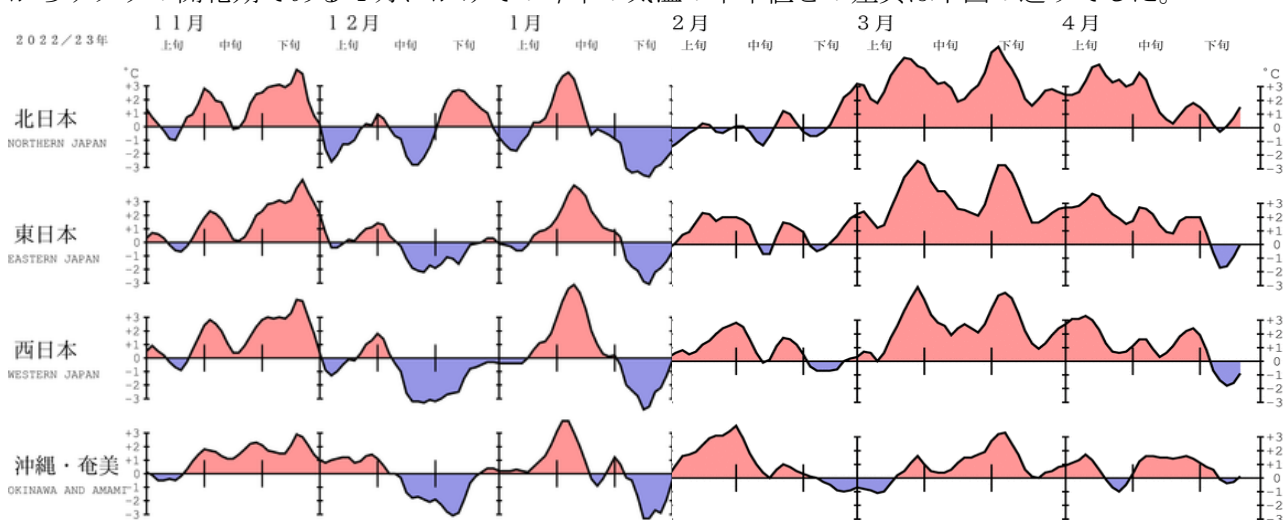


(今年の全国のサクラの開花記録のまとめ)

*今期の気象は再三述べて来ましたが、12月まではラニーニャ現象が継続、昨年同様に寒冷な冬季となると見られていましたが、1月中旬以降はエルニーニョ現象に転じました。12月は平年以下の気温でしたが、1月後半からは全国的に気温の高い年となりました。休眠打破に関係すると言われる、11月からサクラの開花期である4月にかけての今年の気温の平年値との差異は下図の通りでした。



図を見てお分りのように、絶対値は別にして平年値との差異（高低）のパターンは全国的に見れば同様な傾向であったことが分かります。12月は全国的に冷え込み、1月は寒暖ありましたが均せば平年並み、2月以降、北日本地域を除き暖冬に転じ、3月は記録的に暖かな早春となりました。このパターンから「休眠打破」は平年より早く進み、開花期の気温が高い・・開花が早くなったことが読み取れると思います。

*結果は北日本ほど平年に比べての開花日が早まり、東北の各地ではソメイヨシノは4月中旬には満開となり、花見を当て込んだゴールデンウィークの各旅行会社の目玉商品が相次いでキャンセルとなったとのニュースが報じられました。

以下、南から北へ各地域別に今年の「サクラ」の開花状況を纏めておきます。

1. 奄美・沖縄地域

ご承知の通り、気象庁のこの地域の開花・満開日の観測標準種はソメイヨシノではなく「ヒカンザクラ」となっています。

なお、気象庁の地域ごとの月単位の気温経過は、上図の5日変動図とおなじように平年値からの偏差で発表されます。偏差だけでは実情が読みにくいので地域の月平均気温と偏差値を並べて表で示しておきます。

1-1. 沖縄地域の平年値と偏差

	11月	12月	1月	2月	3月
平年値℃	23	19.8	18.1	18.6	20.1
2023年偏差	1.2	0.3	0.1	1.1	0.8

・奄美を除く、沖縄・宮古島・石垣島の値です。

1－2. サクラ開花・満開日と平年差。(平年比、数字のみは早かった日数：以下の表も同じ)

場所		開花日			満開日		花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
奄美・名瀬	1月20日	0	2日遅い	2月1日	1	1日遅い	13	12
沖縄・那覇	1月7日	9	4	1月30日	5	2	24	20
宮古島	1月15日	2	4	2月3日	6	5	20	22
石垣島	2月3日	16日遅い	7日遅い	記録なし				

＊奄美を除いて、沖縄地区のヒカンザクラの開花はここ数年異常となって来ています。従来このエリアでの開花日の平年値は1月17、8日でしたが最近では地域によって早い、遅いがちぐはぐになって来ています。また、宮古島や石垣島では開花は見られても満開には至らない年が出て来ています。今年、石垣島でも2020年に続き満開に至らない年となりました。明らかに「休眠打破」が異常となって来ているのでしょう。

2. 九州地区

2-1. 地域の気温の平年値と今年の偏差

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	14.2	9.1	7	8	11.2	14.2
2023年偏差℃	2	-1.4	0.3	1.2	2.5	1.8

上掲の西日本の温度偏差図にリンクし12月が低温側、1月ほぼ平年並み、2月、3月が平年を上回る気温の経過となりました。

2－2. 九州各地のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

県・場所		開花日			満開日		花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
鹿児島	3月24日	2	4遅い	4月5日	0	4遅い	13日	11日
宮崎	3月19日	4	1遅い	3月30日	3	2遅い	12日	10日
大分	3月24日	0	1遅い	4月3日	1	3遅い	12日	11日
熊本	3月22日	0	2遅い	3月29日	3	1遅い	8日	10日
佐賀	3月22日	2	3遅い	3月31日	2	3遅い	10日	10日
長崎	3月21日	2	1遅い	3月30日	3	1遅い	10日	11日
福岡	3月18日	4	1遅い	3月26日	5	1	9日	11日

＊開花日は大分、福岡を除きほぼ平年なみ、寒い冬であった昨年よりは開花、満開日も遅くなりました。これは、後述の他の地域と違った傾向です。2月、3月の気温が高い方向であったので開花や満開日ももっと早くなっておかしくないが、・・・1月の冷え込みがあっても平年値自体が高めなので、「休眠打破」がさほど早くはならなかったのでしょう。

また、3月の気温が高かったにもかかわらず、開花期間が本年も長かったのは「休眠打破」に要した期間が長かったからでしょう。

3、四国地域

3－1．地域の平年気温と今年の偏差値

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	13.7	8.5	6.3	7	10.1	13.5
2023年偏差	1.8	-1.1	0.3	0.5	2.5	1.8

*この地域も西日本の気温経緯図に準拠している。

3－2．四国地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
高知	3月17日	5	2	3月24日	6	3	8	9
愛媛・松山	3月18日	6	3	3月28日	6	0	11	11
香川・高松	3月22日	5	2	3月29日	6	1	8	9
徳島	3月23日	5	2	3月31日	4	1日遅い	9	8

*全域で開花日は平年に比べて5、6日はやくなっている。また、昨年に比べても2、3日早い開花であったことが分かる。この点は九州地区とは異なる。満開に付いても同様に徳島を除いて6日程早くなっている。

4．中国地域

4－1．地域の平年気温と今年の偏差値

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	12.6	7.5	5.2	5.7	8.9	12.2
2023年偏差	1.6	-1.0	0.3	0.7	2.9	2

*この地域も西日本の気温経過図に準拠している。

4－2．中国地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
山口・下関	3月22日	4	3	3月31日	4	1	10	10
広島	3月19日	6	2	3月28日	6	1	10	10
岡山	3月22日	6	4	3月28日	8	3	7	9
島根・松江	3月20日	9	6	3月27日	9	4	8	8
鳥取	3月19日	10	8	3月24日	12	8	6	8

＊この地域の開花日は瀬戸内海側では、四国と同様平年に比べて 6 日ほど早くなっているが、日本海側の島根、鳥取は 10 日近く早くなっている。日本海側の各府県と同様に本年は積雪の影響を受けなかった為と思われる。なお、鳥取の開花日は 2021 年の最速日と同じ、満開日は最速の記録となった。

5. 近畿地域

5－1. 地域の平年気温と今年の偏差値

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	12.9	7.7	5.3	5.7	8.9	12.9
2023年偏差	1.6	－0.8	0.3	0.6	3.1	2.2

＊近畿地域の期間の気温は 12 月が低目、1 月はほぼ平年並みとなった。開花期の 3 月は異常高温。

5－2. 地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

府県・場所		開花日			満開日		花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
大阪	3月19日	8	4	3月27日	8	3	9	9
京都	3月17日	9	7	3月24日	11	6	8	10
兵庫・神戸	3月24日	3	1	3月31日	5	1	8	9
奈良	3月20日	8	5	3月27日	8	4	8	8
和歌山	3月20日	4	4	3月25日	9	4	6	11
滋賀・彦根	3月22日	9	8	3月30日	9	7	9	9

＊この地域では、最近京都、奈良、今年になって兵庫・神戸で開花の基準となる標準木が変更されている。神戸、和歌山を除き開花は平年より 1 週間以上早くなっているが、京都の最速は 2021 年の 3 月 16 日であり記録更新にはなっていない。大阪、彦根の開花日は最速タイ記録。

＊皆さまの今年の開花調査との相関性など興味を持たれる地域である。

5. 東海地方

5－1. 東海地域の平年気温と今年の偏差値

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	13.2	7.9	5.5	6.1	9.4	12.9
2023年偏差	1.8	－0.5	0.3	1.1	3.2	2.3

5-2. 地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

県・場所		開花日			満開日		花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
岐阜	3月16日	9	5	3月23日	10	5	8	9
愛知・名古屋	3月17日	7	5	3月27日	6	3	11	10
三重・津	3月22日	7	4	3月27日	7	3	6	6
静岡	3月19日	8	4	3月29日	4	1	11	7

＊今年の開花日ランキングでは、岐阜が東京、横浜に続き第 3 位、名古屋が第 4 位であった。ただし、両地区とも最速記録ではなく、2021 年と同じ日である。強いて気温データから解析すると、近畿圏よりは 2 月、3 月の気温が平年値より高めであったことが、開花を早めた要因であったかも知れない。

6. 関東地方

6－1. 関東地域の平年気温と今年の偏差値

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	12.1	7.1	4.7	5.3	8.5	11.9
2023年偏差	1.6	-0.2	0.3	1.1	3.6	2.5

＊1 月までの平年気温との偏差は他地域と大差はないが、開花に影響する 2 月と 3 月の気温の偏差は大きくなっている。2 月の偏差、1.1℃は積算温度では 3 0℃・Day 程度となり、平年の開花時気温 11～12℃を考えると開花を 2, 3 日早める効果、さらにこの表でも 3 月の偏差は記録的に高いが、冒頭の図東日本から分かるように、初旬から中旬にかけて異常高温であったことがこの地域の開花を早めたものと思われる。

6－2. 地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

都県・場所		開花日			満開日		花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
神奈川・横浜	3月15日	10	6	3月25日	7	3	11	8
東京	3月14日	10	6	3月22日	9	5	9	8
千葉・銚子	3月22日	8	5	3月29日	7	7	8	7
埼玉・熊谷	3月17日	10	7	3月26日	8	4	10	7
群馬・前橋	3月18日	11	9	3月24日	12	8	7	10
栃木・宇都宮	3月20日	10	7	3月30日	7	3	11	11
茨木・水戸	3月20日	10	10	3月27日	10	10	8	8

＊この地区の開花は各地 10 日ほど開花が早まった結果となった。要因は上述のように、今年の気温経緯によるが、東京は最速（2021 年）タイであるが、横浜、熊谷、前橋などは最速の記録を更新している。

7. 北陸・甲信越地域

7－1. 地域の平年気温と今年の偏差値

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	10.7	5.2	2.6	3.3	6.8	10.2
2023年偏差	0.6	0.1	0.4	0.5	3.2	2.4

＊山梨県、長野県の甲信越地域は関東・甲信地域に纏められることが多いが、気候上は北陸・信越にまとめた方が良い？と思いまとめた。

＊この地域の特徴は、他地域ほど 11~2 月の偏差は大きくない。ただ 12 月、1 月は降雪・積雪がたが、2

月以降降雪が少なくなった経緯がある。3月の気温は平年より可成りたかくなった。

7-2. 地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
福井	3月22日	10	9	3月27日	11	10	6	7
石川・金沢	3月22日	11	7	3月30日	9	6	9	7
富山	3月22日	12	10	3月27日	12	10	6	6
新潟	3月27日	12	12	3月31日	13	11	5	6
長野	3月28日	14	12	4月3日	13	8	7	6
山梨・甲府	3月17日	8	4	3月24日	9	4	8	9

＊この地域では、甲府（3月25日）を除き、4月にならないと開花が見られない地域であったが、今年は3月に開花、2021年に記録した最速日記録を全ての地域で塗り替えた。

8. 東北地域

8-1. 東北地域の平年気温と今年の偏差値

	11月	12月	1月	2月	3月	4月上旬
平年値℃	8.1	2.7	0.3	0.8	4.1	7.8
2023年偏差	1.7	0.4	0	0.4	3.4	2.9

8-2. 地域のソメイヨシノの開花・満開日、平年及び昨年比

県・場所	開花日			満開日			花期	
	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年比	昨年比	2023年	平年
福島	3月24日	14	11	3月28日	14	11	5	5
山形	3月31日	13	11	4月5日	13	8	6	6
岩手・盛岡	4月3日	15	11	4月6日	18	12	4	7
秋田	4月4日	13	8	4月7日	15	9	4	6
青森	4月5日	15	9	4月11日	15	9	7	7

＊この地域のソメイヨシノの開花は通常4月中旬以降、今年は2週間も開花がはやくなった。この地域でも、全県2021年に記録した開花最速日の記録を塗り替えた。4月下旬の寒波で、満開のサクラに積雪といった映像をご覧になった方も多いでしょう。

＊この後、サクラ前線は津軽海峡を渡り、北海道・函館の五稜郭のソメイヨシノの開花日は平年より2週間早い4月14日、札幌が4月15日、室蘭が4月21日でした。何れも最速の開花日を記録しました。

以上、記録の羅列になりましたが、今年の各地の開花状況をまとめました。参考にして下さい。